

# 地震ポスター支援プロジェクトのためのポスター Posters of Earthquake Poster Support Project

御法川哲郎

MINORIKAWA Tetsuro

キーワード：地震、支援、ポスター、イラストレーション

Keywords：Earthquake, Support, Poster, Illustration

2007年より、私は地震ポスター支援プロジェクトのためのポスターを毎年制作し、展示に参加している。地震ポスター支援プロジェクトは、2004年に発生した新潟県中越地震の後、多摩美術大学の秋山孝教授が立ち上げたプロジェクトである。「災害支援においてデザイナーのできることは何か」ということから、ポスターの力を使い災害を忘れずに記録することを目的にスタートしたものだ。

「最初は2004年12月3日に多摩美術大学テキスタイル棟での講評会で支援ポスターの発表を行った。それは学生たちの自主的なものであり、イラストレーションポスターで各自のメッセージを表現したものとなった。さらに2回目として2005年6月17日には多摩美術大学レクチャーホール棟で講評会を行った。3回目は同年9月21日、22日に東京工芸大学中野校舎ギャラリーで東京工芸大学との合同展示と講評会を行った。4回目は同年10月23日から2006年1月27日の間、ギャラリーたまびば（スーパーアルプス多摩境内）において展示を行なった。これ以降、講評会、東京工芸大学との合同展示を毎年行い、支援ポスターの発表を継続している。これらの活動の参加者は650名を超え、作品点数は1050点以上になった。」

引用：秋山孝、Illustration Studies-55、p3、2013年、Illustration Studies・Tama Art University

このプロジェクトが立ち上がる時、私は多摩美術大学に副手として所属しており、プロジェクトをサポートし、2007年からは毎年ポスターの制作を行ってきた。2011年からは長岡造形大学に所属し、ここでポスターの制作を継続している。2012年から4年生の卒業研究の授業で10名の学生を受け持ったことを機に、この10名もプロジェクトに参加し、彼らもポスターを制作した。私を含め11名は16点のポスターを持ち、2012年9月28日から10月17日まで行った多摩美術大学と東京工芸大学による2大学合同展に参加した。この展示では、計130点のポスターが並んだ。その中から48点を選び、同年12月11日から24日に長岡造形大学1Fギャラリーにて巡回展示を行った。長岡造形大学のある新潟県は規模の大きな地震が多く発生する地域の1つである。2007年7月16日新潟県中越沖地震 (M6.8)、2004年10月23日新潟県中越地震 (M6.8)、1964年6月16日新潟地震 (M7.5)、それ以前もM6以上の地震の記録がある。このことから、私は現在所属する長岡造形大学においても地震災害を未然に防ぐ活動の1つとして、今後もポスターの制作と発表を継続していこうと考えている。



多摩美術大学 地震ポスター作品講評会  
2004年12月3日  
多摩美術大学テキスタイル棟ギャラリー



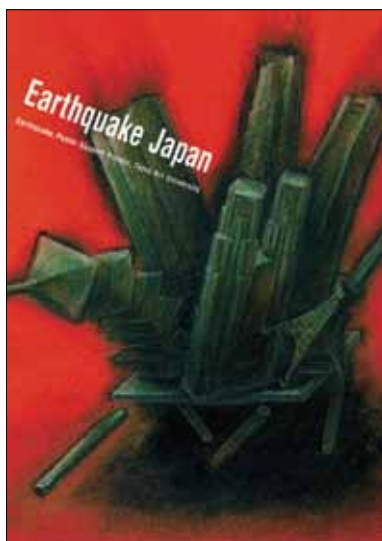
東京工芸大学、多摩美術大学 地震ポスター展 2005  
2005年9月21日、22日  
東京工芸大学中野校舎ギャラリー  
前列中央：秋山孝（多摩美術大学教授）  
前列左：甲賀正彦（東京工芸大学講師）



新潟中越地震支援ポスター展  
2005年10月23日～2006年1月27日  
ギャラリーたまびば（スーパーアルプス多摩境内内）



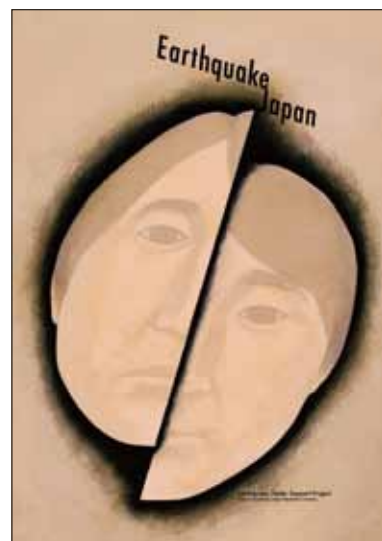
多摩美術大学・東京工芸大学・長岡造形大学  
地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーション  
ポスター展 in 長岡造形大学  
2012年12月11日～24日  
長岡造形大学1Fギャラリー



タイトル：Earthquake Japan  
制作年：2007年  
サイズ：1030mm x 728mm  
テクニック：オフセット印刷  
クライアント：多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト



タイトル：Earthquake Japan  
制作年：2008年  
サイズ：1030mm x 728mm  
テクニック：オフセット印刷  
クライアント：多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト

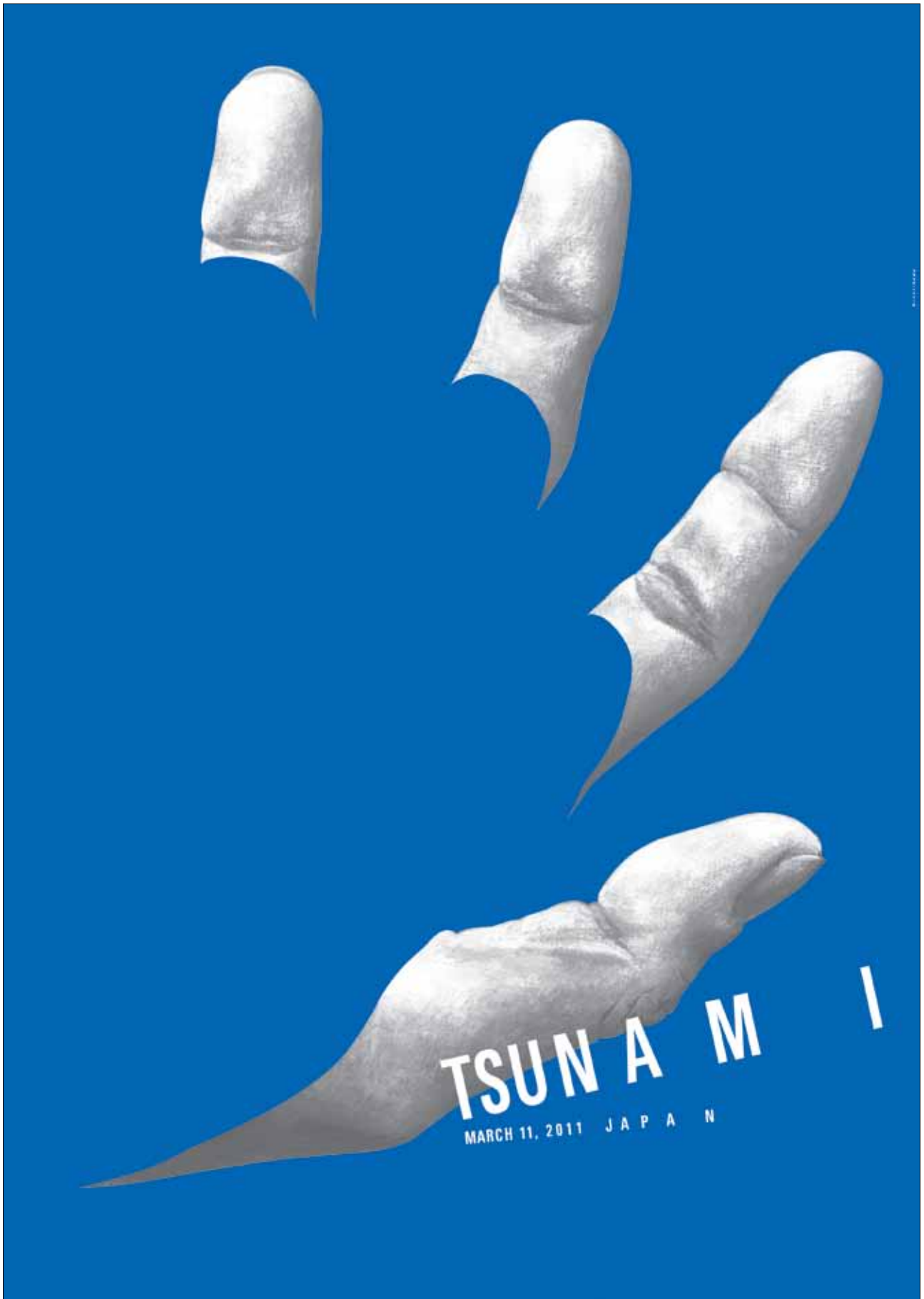


タイトル：Earthquake Japan  
制作年：2009年  
サイズ：1030mm x 728mm  
テクニック：オフセット印刷  
クライアント：多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト



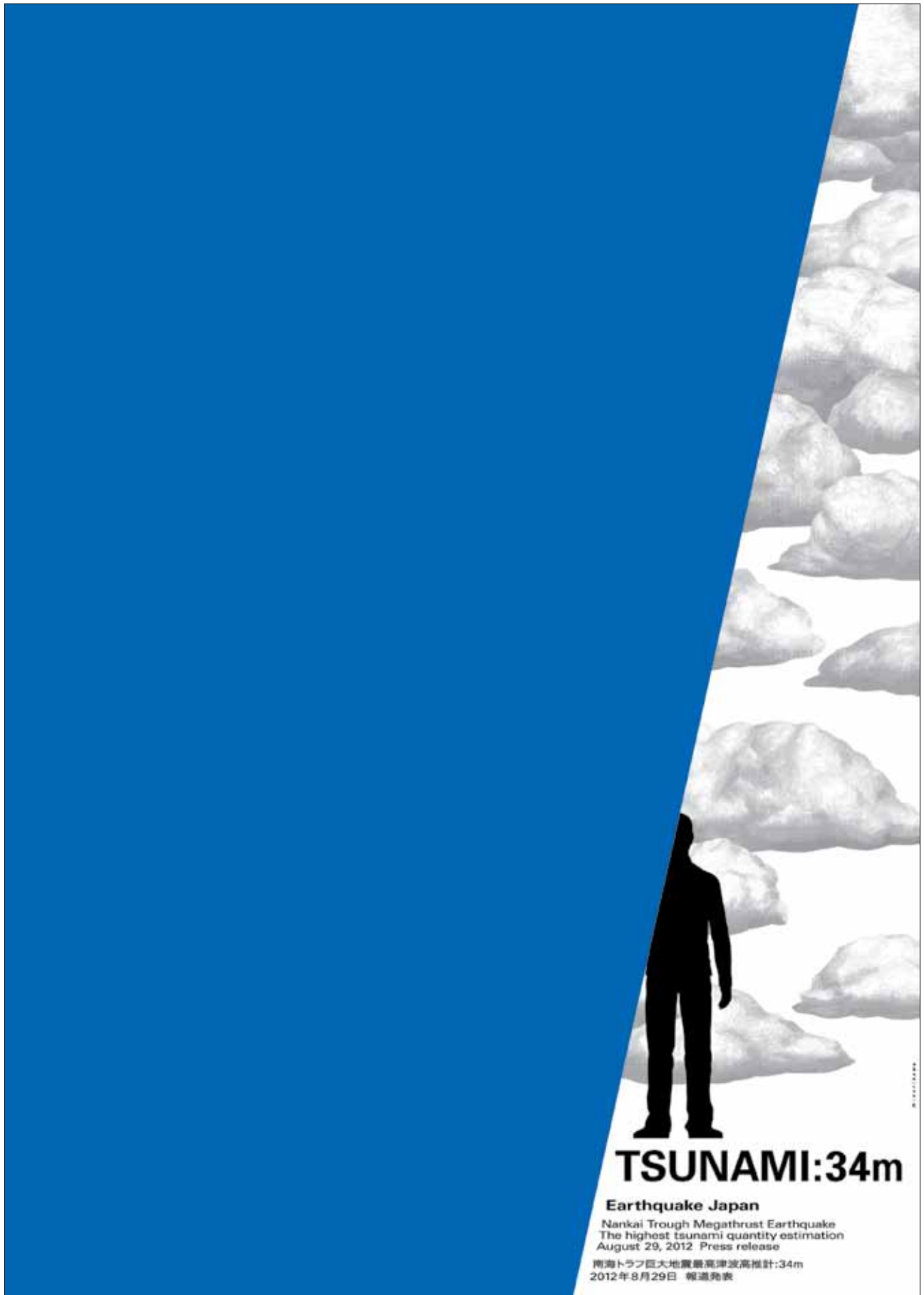
タイトル : Earthquake Japan  
制作年 : 2010年  
サイズ : 1030mm × 728mm  
テクニック : オフセット印刷  
クライアント : 多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト

地震による被害が発生した際、他の災害と同様に被災者に手を差し伸べる姿勢でありたい。



タイトル : TSUNAMI  
制作年 : 2011年  
サイズ : 1030mm × 728mm  
テクニック : オフセット印刷  
クライアント : 多摩美術大学  
受賞 : 第23回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ 金賞

2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波を表現した。この地震は、日本周辺における観測史上最大の地震だった。津波は多くの人々に圧倒的な恐怖感や無力感を刻み込んだはずだ。そこには大きな悲しみが伴う。この津波をなんとか記録に残そうとした。それは数値で表せるものについての記録ではなく、津波が土地や生活、生命を飲み込んだということ、またテレビ中継等も含めこの災害を目の当たりにした人々の悲しみの記録だ。



タイトル : TSUNAMI:34m  
制作年 : 2012年  
サイズ : 1030mm × 728mm  
テクニック : オフセット印刷  
クライアント : 多摩美術大学地震ポスター支援プロジェクト

南海トラフ巨大地震が起きることを想定した場合、最大津波高の推計は34mになるという。これは内閣府が2012年8月29日に報道発表した。34mという数値は、高知県土佐清水市、幡多郡黒潮町におけるものだ。南海トラフ巨大地震とは、今後30年以内に発生する確率の高い東海地震と東南海、南海地震の3つが連動して発生することを想定した巨大地震のことだ。とても受け入れがたい数値のこの津波を、雲をも覆うような巨大な青い壁と喩え表現した。